

大軍拡と壊れゆく私たちの暮らし

～本当に私たちは中国と戦争をするのですか～

2026年度防衛費予算は9兆353億円1秒間に28万以上が使われる。

・長射程ミサイル関連に1兆円 ・無人機 ・宇宙、サイバー関係 ・南西諸島の防衛力強化等

日本では、「戦争準備」と「軍事強化」が急速に進められています。高市政権は「台湾有事に日本が参戦する」という姿勢を鮮明にし、「中国から台湾を守るために、日本が中国と戦争をする」という道を現実のものにしようとしています。

戦争が起きた時最前線に立たされるのは、20代、30代の若者です。そして沖縄が最前線となります。

今進められている西日本の軍事拠点化、全国に配置されようとしているミサイル基地・弾薬庫、そして中国に向けて配備されようとしている長射程ミサイル。⇒ 日本中が戦場になる可能性が！

若者が動員される仕組みが着々と進められようとしています。

・予備自衛官補(未経験者)の年齢制限が34歳未満 ➡ 52歳未満に引き上げ

・自衛隊の給与引き上げ ・「強度部隊」「民間防衛組織」構想? ・大学生・消防・民間人の動員構想?



小西 誠さん プロフィール

1949年、宮崎県生まれ。軍事ジャーナリスト、社会批評家代表

中学卒業後すぐ少年自衛官に入隊、空自佐渡基地に配属。1970年自衛隊で始まった治安出動訓練に反対し、隊内での人権・自由を求めて単身決起。反戦自衛官として社会的反響を呼ぶ。その後自衛隊内の民主化などの活動を継続し、2004年には、「自衛官人権ホットライン」を創設し、自衛隊員たちの人権相談を行う。現在も継続中。

2010年代後半からは、自衛隊の南西シフト→対中国戦争体制づくりと南西諸島のミサイル要塞化・戦場化、その西日本全域～全国への波及を厳しく追及・指弾し、いち早く警鐘を鳴らしてきた。現在その活動は沖縄—西日本の連携のみならず、グローバルサウスとの連携へと広がっている。

プログラム

13時30分	受付開始
14時	開会挨拶
14時05分	祝園ネットアピール
14時10分	メッセージ
14時15分	奈良の会アピール
14時20分	講演
15時50分	質疑応答
16時20分	閉会挨拶
16時45分	パレード

2026年4月18日(土)

午後2時開会

無料
参加費

場所：奈良公園バスターミナル東館

レクチャーホール

主催：小西誠さん講演集会実行委員会

連絡先 09017911105(八木)